

生産者の多くは後継者がいない
(養鶏団体)

本県農林水産業に関する御意見(聞き取り・アンケート調査結果から)

外国人を積極的に雇用したい
(しいたけ生産者)

将来、就農したい、
けど土地も施設もない
(農業大学校2年生)

ドローンを使いたいが、
地域にオペレーターが
いない(ゆず生産者)

収益性を高めるには、
ほ場整備が必須
(水稻生産者)

高く売るには、ブランディングが
重要
(流通事業者)

物量をまとめる仕組みが欲しい
(施設野菜生産者)

計画策定の基本的な方針

◎持続可能な農林水産業の実現のためには「**自給力の向上対策**」が最重要
→「4つの力」を伸ばすことで、徳島の農林水産業を活性化、次代の生産者モデルを創出

はたらく力

■「担い手」の育成

- ▶新規就農者へ「**儲かるビジネスモデル**」を提案
→遊休施設等を活用した低コスト経営モデルの構築
- ▶就農のための「**移住交流プロジェクト**」の展開
→「県南きゅうりタウン構想」のノウハウを横展開し、民間事業者と連携した「にし阿波・いちごタウン構想」を実施
- ▶「農・林・水」の**新規就業研修**や**リカレント教育の実施**
→先進的な装置や技術力の高い現場での**技術研修の実施**

■農林水産業への多様な「働き手」の誘導

- ▶「スキマ時間」**農業バイトアプリ**の活用
→藍住・板野地区のニンジン、葉物野菜農家が**試行的に利用**
- ▶**外国人人材の活用**及び**農福連携の推進**
→「特定技能2号」取得者の**育成・定着支援モデル構築**



外国人人材の育成に
先進的な取組



県農林水産チャレンジ
センターで行われる
各種研修(県内各地)

つくる力

■DX等による増産と高収益化

- ▶団地化や集出荷施設等の整備による**産地の大規模化**
→高度環境制御型生産施設や物流の**コールドチェーン**に対応した集出荷施設等の**整備支援**
- ▶産地内加工や輸出産地の形成による**高収益化**
→産地での**一次、二次加工の円滑化**やかんしょなどの**輸出産地拡大支援**(先行事例:にし阿波・山のチキンファーム構想)
- ▶スマート機器の導入及びスマート技術対応型基盤整備の実施による**作業の省力・効率化**
→ほ場**一筆あたり面積を拡大**したうえで**水管理などを自動化**、また、スマート機器導入に加え、**活用技術の習得をサポート**
- ▶森林クラウドの構築による**施業の効率化**
→山林の状況を一目で見える化し、**効率的な林業経営を支援**

■新技術の実装の加速化

- ▶とくしま農林水産**イノベーションHUB**の創設
→大学、企業等との連携により、**現場発の技術革新を創出**



自動灌水
システム



高性能
林業機械



カシゴの自動挿苗機



ドローンでの農薬散布

売る力

■戦略的プロモーションの実施

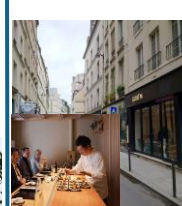
- ▶新たな**地域商社との連携**
→民間のノウハウや人脈をフルに活用した**商品開発や販路開拓**
- ▶陸上養殖による**新ブランドの展開**
→サツキマス、有機藻類などの生産を足がかりに**他の種に関する陸上養殖の可能性を検討**

■農林水産物の輸出の拡大

- ▶地域商社の**専門人材の活用**
→アジア、EU、ハラル市場など**新たな販路開拓**

■農山漁村と都市部の交流人口の拡大

- ▶地域資源を活用した**農山漁村の活性化**
→**食文化や観光と一体的なプロモーションの展開**



パリのプロモーション
の展開の様子



JAPAN EXPO 2024
タイでのブース出展



農林漁家民泊体験
プロモーションの様子

農山漁村の 防災力

■生産基盤の強靱化

- ▶迅速な復旧復興に向けた**地籍調査事業の促進**
- ▶農業用ため池や漁港施設の**耐震化**
- ▶治山施設や森林整備による**山地防災力の強化**

生産と生活の
安全・安心を
確保



堤体の強化(ため池)



漁港の耐震化



流木対策(治山ダム)